

アリドネ[®]パッチを

使用される方へ

このお薬は、皮膚から吸収された有効成分によって、記憶障害などの症状の進行を遅らせる働きがあります。

医師や薬剤師の指示に従ってご使用ください。

お薬を貼る場所・貼る時の注意

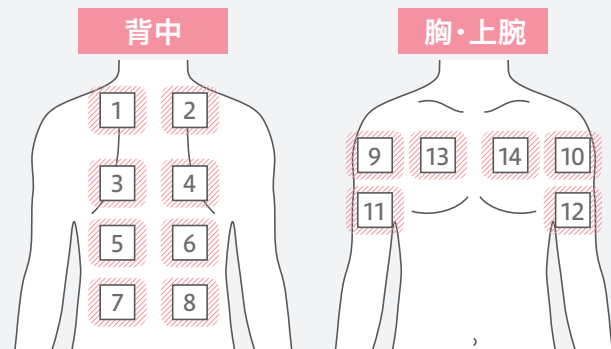
【貼る時間について】

- 毎日1回、同じ時間にお薬を貼ります。

【貼る場所について】

- 背中、上腕、胸のいずれかに貼ります。
- 貼る場所は毎回変え、同じ場所に続けて貼らないでください。
- 一度貼った場所には7日間以上の間隔をあけてから貼ります。

貼る順番の一例です。



- の中の数字はお薬を貼る順番を示しています。
- 14まで終わったら、再び1に戻って同じ順番を繰り返します。

イラストのように貼る順番を決めて毎日貼っていき、一度貼った場所へもう一度貼るまで、7日間以上の間隔をあけることができます。

【貼る場所の注意】

- 直射日光があたらないよう、衣服などで隠れる場所を選んでください。
- 清潔で乾燥した場所、体毛が少ない場所、衣服を着用してもこすれにくい場所に貼ってください。
- 傷や湿疹・皮膚炎などがある場所には貼らないでください。
- クリーム、ローション、パウダー、軟膏などをぬったばかりの場所ははがれやすいため、貼らないでください。

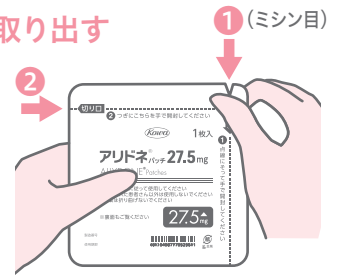
【貼る前の注意】

- 必ず古いお薬をはがしてから新しいお薬を貼ってください。
- 貼る場所を乾いたタオルなどでふいて、清潔にします。水分や汗をよく取り除いてください。

お薬の貼り方

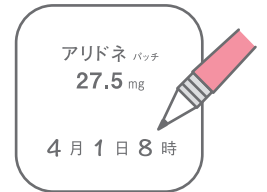
1 包装袋からお薬を取り出す

内部のパッチを傷つけないように、包装袋の2カ所を番号順(①→②)に手で切り取り、中のパッチを取り出してください。



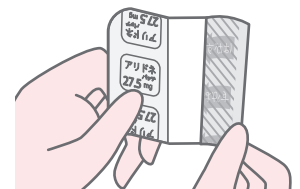
2 日時を記入する

パッチ表面に、貼る日付と時間をペン・ボールペンなどで記入してください。(衣服などにインクが付く場合があります。水性ペンは乾きが遅いのでご注意ください)



3 透明フィルムを半分はがす

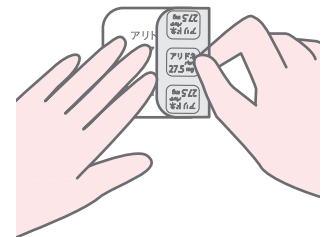
パッチには透明フィルムがついています。粘着面に触れないように、透明フィルムの半分をはがしてください。



※一度山折りすると、透明フィルムがはがれやすくなります。

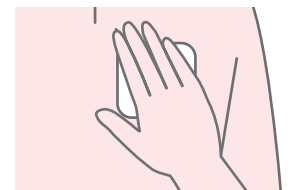
4 お薬を貼る

粘着面を背中、上腕、胸のいずれかに押しあて、半分だけパッチを貼ってください。貼った部分を押さえて、残りの透明フィルムをはがしながら貼ってください。(お薬は、ハサミなどで切って使用しないでください)



5 お薬を押さえる

パッチがしっかりとくっつくまで、手のひらで押さえてください。



6 手を洗う

パッチを貼り終わったら、手を流水で洗ってください。手にお薬がついていることもあるため、手を洗う前に、目や口に触れないようにしてください。



貼り忘れたとき、はがれたときの注意

- 貼り忘れに気づいたときは、気づいた時点で新しいお薬を貼ってください。
次からはいつもと同じ時間に貼りかえてください。貼り忘れに気づいても2回分以上を一度に貼ってはいけません。
- はがれそうなときは、再度手で押さえて貼ってください。
完全にはがれたときは、新しいお薬に貼りかえ、はがれたお薬は捨ててください。
次からはいつもと同じ時間に貼りかえてください。

貼っている間の注意

- お薬を貼っている間とはがした後の3週間は、貼った場所を衣服でおおうなどして、直射日光があたらないようにしてください。
- お薬を貼った場所が、過度の直射日光、あんか、サウナなどで熱くならないようにしてください。
- 車の運転や危険を伴う機械の操作はしないでください。

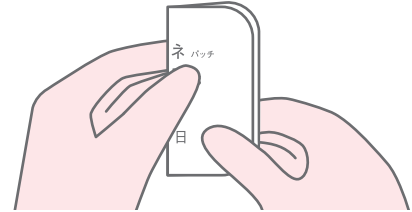
副作用について

- 主な副作用として、皮膚症状（お薬を貼った場所がかゆくなる、赤くなるなど）や消化器症状（下痢、食欲不振、吐き気、嘔吐など）が報告されています。
- お薬を使用して気になる症状があらわれた場合は、医師または薬剤師に相談してください。



お薬の捨て方

- お薬をはがすときは、皮膚を傷つけないよう、ゆっくりとやさしくはがしてください。使用済みのお薬には成分が残っているため、粘着面を内側にして折りたたみ、子どもの目や手の届かないところに捨ててください。

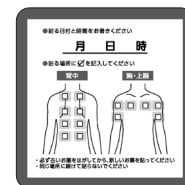


保管上の注意

- 子どもの目や手の届かないところで、高温を避けて保管してください。
- お薬は折り曲げないでください。
- 包装袋は貼る直前まで開けないでください。
- 処方された患者さん以外は使用しないでください。

包装袋の活用

- 包装袋（裏面）には、貼る日時の記入欄、貼る場所のチェックボックスがあり、あらかじめ貼る予定の日時、場所を書きとめておくことができます。



このお薬について分からないことがありましたら、
医師または薬剤師にご相談ください。